



「**仏** 様のような笑顔」という言葉が、これほど似合う人はいません。包み込むような笑顔と優しいオーラに、誰もがふっと心を和ませます。

戦国時代に佐野昌綱が建立した、佐野氏ゆかりのお寺、大雲寺。富田さんは第三十三世住職の奥様であり、書道教室「研映社」の指導者でもあります。

「ここは書道の道を極めるのではなく、子どもたちの豊かな心を育てる場所」。先代から受け継いだこの信念を胸に教室を続けて60年が経ちました。

「できたー」と目を輝かせる子。「もう一回」と筆を握る子。そんな子どもたちの笑顔と成長を見守ることが、何よりも幸せだといえます。

日本武道館の席書大会や、明治神宮の全国少年新春書道展など、さまざまな挑戦にも子どもたちと共に取り組んできました。かつての教え子が親となり、今ではその子どもや孫も教室に通っています。「私が元気なうちに、と来てくださるんですよ」

日々感謝 - 子どもたちの笑顔を育み60年 -

キラリ話題の人

ひとこ
富田 士子 さん

・大雲寺書道教室「研映社」指導者



▲富田さんが指導を行う書道教室

と、嬉しそうにほほ笑みます。

富田さんは幼い頃、戦火を逃れ、浜松から疎開して佐野へ移り住みました。人には語ることのできない苦労や悲しみもあつたそうです。それでも、「不思議と、いつも良い方々に巡り合って助けられてきたんです」と、感謝の心を忘れません。

「自分がどうしたいかよりも、周りの人に幸せになってほしい」。そう願いながら、80歳を超えた今も周囲の方々へ感謝を忘れずに過ごされています。

「今まで大切にしてきた人たちが、私の長生きを願ってくださっているのかもしれないですね」

人の幸せを願う心は、巡り巡って、自分にも返ってくるのかもしれない。富田さんの教室で育まれた、やり遂げる忍耐力、礼儀を大切にしている心、人を思いやる心、そして感謝する心。その一つ一つが、子どもたちの人生を支え、やがて次の世代へと受け継がれていきます。

(市民記者 関口麻里)

ようこそ 市長室からこんにちは！



佐野市長
金子 裕

現在、多くの地方自治体が人口減少や高齢化という課題に直面するなか、地域に住む「定住人口」だけでなく、特定の地域に多様に関わる「関係人口」の創出・拡大が非常に重要な意味を持っています。

地域外から訪れ、関心を持ち、応援してくれる人々との絆を深めることは、地域の活力を養い、本市の新たな魅力やにぎわいを生み出す大きな力となります。

本市では、この関係人口拡大に向けた取り組みとして、全国で最も多い名字である「佐藤さん」のふるさととして「佐藤さんゆかりの地聖地化プロジェクト（佐藤の会）」を推進し、毎年3月10日の「佐藤の日」には、全国から多くの佐藤さんをお迎えしております。

これまでも、名字のプライドをかけた熱い対決企画として、草野球やサッカーなど、全国から集まった「佐藤さん」と「鈴木さん」による熱戦が繰り広げられてきました。

そして今年度、この「佐藤VS鈴木」の新たな特別企画として、テレビ東京の人気番組「開運！なんでも鑑定団」の人氣コーナー「出張！なんでも鑑定団」を本市にお招きし、「お宝鑑定対決」を開催することが決定しました。本市での開催は1998年以来、今回が2度目となります。

私も、歴史ある名字ゆかりのお宝が披露されるのではと期待しておりますので、ぜひご覧ください。

さて、気候も穏やかにになり、いよいよ本格的な秋のシーズンを迎えます。市内各地では、学校や保育園・幼稚園などの運動会、また市民が一体となって汗を流す「佐野市民スポーツ大会」が開催されます。

スポーツや体を動かすことを通じて、ご家族や地域の皆さまとの親睦を深め、爽やかに実り豊かな秋のひとときを存分に楽しんでいただければと思います。



▲出張！なんでも鑑定団 in 佐野



駅前のギャラリーで「猫展」開催！ 作家12人が描く猫のアート

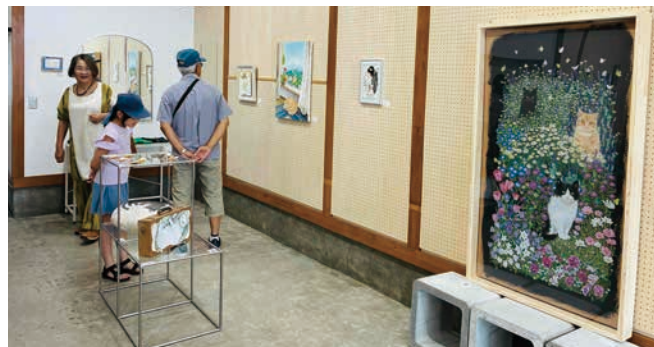
日本では猫の日といえば「ニャンニャンニャン」の語呂合わせで2月22日
が有名ですが、国際的な動物保護団体によって定められた猫の日は8月8日
なのだそうです。

それにあやかって8月8日(土)から4日間、猫に関する作品を集めたグルー
プ展が、佐野駅前のギャラリー「アーツスケイプ」にて開催されました。

写真、絵画、陶芸、彫刻など、作家12人による個性豊かな猫の作品は見
応えたっぷり。それぞれの猫に対する思いが、アートを通して伝わってきます。

会場にはアートが好きな方、猫好きの方が足を運び、中にはSNSを見て県
外から来た方もいたりで大盛況だったそうです。夏休み中で祖父母と訪れて
いた小学生の女の子は、バラエティに富んだ猫の作品を前にして「猫がみん
なかわいいです」と話してくれました。

(市民記者 小林春美)



sanoteens が取材！

第34回さの秀郷まつり

9月12日(土)・13日(日)、市役所周辺で第34回さの秀郷まつりが開催され
ました。

まつりのオープニングを飾ったのはさの秀郷太鼓保存会の皆さん。素晴らしい太鼓の音を響かせていました。続いて会場を盛り上げたのは「ちびっこさのまる音頭」。佐野日本大学短期大学「SEM」や佐野市高校生プロジェクト「sanoteens」、さのまるが子どもたちと一緒に踊っていました。また、佐野ブランド大使のDOTAMAさんや佐野太鼓などが夜のステージを盛り上げました。市民総おどりとねぶた巡行では多くの人が参加し、踊りやおはやしで心を一つにしていました。

2日目は野州小桜や佐野東高等学校ダンス部などによるステージ発表があり、素敵なパフォーマンスでお客さんを盛り上げていました。みこし・おはやし巡行では活気あふれる地域の皆さんの姿が輝いていました。そして、佐野ブランド大使のダイヤモンド☆ユカイさんがまつりのフィナーレを飾りました。

両日を通してさのブランドカプセルトイや露店も大人気でした。

取材してみて普段とは違う視点で参加できて面白かったです♪



(sanoteens あかり、しゅうか、おとは、いろは、りお)

